

個人質問

11月定例市議会では、二十二人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

一般・まちづくり



電子自治体

市民参加で構築へ

問 電子市役所構築に向けての考え方は。

答 庁内LANを活用した文書管理システム等の整備による事務の効率化・高度化、届出・申請等行政手続のオンライン化で市民サービス向上を図りたい。さらに、電子町内会の整備等市民参加の情報化施策を推進し、市民がITの恩恵を早急に享受できる電子自治体の構築に向け、平成13年度中に市民への情報化促進の方針を示したい。

分譲マンション

まちづくりでの位置づけは

問 分譲マンションのまちづくりにおける位置づけは、管理組合に町内会的機能を持たせては。

答 まちづくりやコミュニティにおける重要課題と認識



市東部活性化の起爆剤に・カネボウ跡地

しており、住環境や定住促進策の対象として検討していく。管理組合自体を連合町内会や自治会の一部にしている地域もあると聞いており、こうした取り組みを促進していきたい。

カネボウ跡地利用実施計画

平成14年度策定へ

問 いまだ方向性が示されないカネボウ跡地について、利用実施計画の策定時期は、整備事

業費の考え方は。

答 新しい雇用が生まれる新産業ゾーン、旭川荘の動向を見ながら、平成14年度を目途に実施計画をまとめる予定だ。民間資本の導入が不可欠と考えており、事業の採算性や土地の賃貸額等を考慮しながら、慎重に検討していきたい。

支所産業建設部門

今後の統合計画

問 平成13年度に吉備支所の産業建設課が本庁へ統合されたが、今後の計画は。

答 現在、上道支所で動きがあり、時間はかかるが、順調に移行できると考えている。福田支所でも、住民サービスを基本とした支所のあり方について検討を要望する声が上がっており、地元との協議を進めたい。他の支所については、先行事例の状況を見極めた上で検討したい。

電子入札制度への

取り組みは

問 談合防止や透明性の確保等を図るため、公共工事に電子

入札制度の導入を。

答 国が公共事業への電子入札導入に支援の方針を打ち出しており、本市としても、平成13年度中に、ホームページ上での入札契約情報の公開や申請書類

生活・福祉



市民協働で

福祉のまちづくりを推進

問 岡山市くらしやすい福祉のまちづくり条例の考え方は。

答 今まで限定的にとらえがちだった福祉を、市民の暮らしやすさの向上ととらえ直し、福祉の側からのまちづくりを発信するものだ。行政・市民・事業者の三者による協働を基本に、共通の目標に向けて果たすべき役割等を定めることにより、今後の福祉のまちづくり推進の政策指針とする。今後、条例の実効性を上げるため、情報公開、表彰関係等について規則や要綱で検討していきたい。

保育園の入園選考基準

公開へ

問 透明性が求められる保育園の入園選考基準の現状と今後の公開は。

答 平成13年度から点数制を

等のダウンロードに取り組みたい。14年度中には、入札参加資格審査申請や公募型指名競争入札参加申請をインターネット上で行う電子申請システムを構築する予定だ。

試行している。実施状況を踏まえ、福祉事務所、保育課や保育園での意見を聞いた上で問題点等を検討し、14年度の再試行後、15年度から選考基準を公開して、本格的に実施したい。

電子カルテ

市民病院で実証実験

問 市民病院への電子カルテシステム導入は。

答 現在、国の先進的IT推進事業により開発を進めており、平成14年1月から実証実験を開始する予定だ。これにより、ネットに結んだ医療機関との間で、患者情報の共有化等が可能になる。さらに、音声や専用ペンの利用による入力ミスの防止や、デジタルカメラの画像が取り込めることで、患者への説明の容易化、情報の共有化が図れ、医療レベルの向上にも役立つと考えている。